
長崎バスグループ CSRレポート2017

長崎バス安全教育センターCSR推進課
〒850-0077 長崎市小瀬戸町809-17

長崎バスグループポータルサイト
<http://www.nagasaki-bus.co.jp>
2018年3月発行



長崎バスグループ
長崎自動車株式会社

人と人 街と街を 結ぶ

毎日の暮らしとともに
長崎バスグループ



長崎バスグループ
CSRレポート2017

NAGASAKI BUS GROUP CSR REPORT



お客様の目線で
考え行動することが
お客様の喜びに繋がる

上田 惠三

平成29年5月30日、長崎自動車株式会社の上田
惠三会長が永眠されました。(享年75)

上田会長は昭和16年8月28日に長崎県の時津
町に生まれ、県立西高、国士舘大学政経学部を卒業
後、昭和41年に長崎自動車株式会社に入社。取締
役経理部長、常務取締役などを歴任し、平成12年
に代表取締役社長、創立75周年を迎えた平成23
年には代表取締役会長に就任され、50年余りの長
きに亘り長崎バスグループの発展に尽力されました。

また、「異国情緒豊かな長崎の文化は、人の情熱
なくしては続かない。情熱こそが感動を生み出す」
と、率先して長崎の文化継承の旗振り役を務められ、
会長就任と同じ年の12月には、長崎商工会議所会
頭に就任。情熱をもって地域貢献を果たされました。

人口減少が進む中、地域の要望に応えミニバス
を導入するなど、常に「お客様目線」に立ち、社員と
のコミュニケーションにも心を砕かれた上田会長。こ
こに、哀悼の意を表し、謹んでご冥福をお祈り申し上
げます。

過去から学び飛躍する 100年企業を目指す 未来への挑戦

長崎バスグループの成長戦略である「中期経営計画セカンドステップ」の最終年となる平成30年。掲げていた目標を達成すると共に、新たな目標にも果敢にチャレンジする一年と位置づけております。

挑戦には、これまで経験したこともない課題や問題とも対峙しなくてはなりません。目の前に立ちはだかるリスクに捉われ歩みを止めるのではなく、幾多の苦難を乗り越えられた先輩諸賢の行動を良き手本に、使命と経営理念に沿った行動とは何かという原点に立ち戻って考え、そして、明確なビジョンと戦略をもって課題に取り組み、必ずや成果に繋げる所存です。

上田会長のご遺志でもあり私たちに託された、“日本一愛されるバス会社”の実現に向かう高い志とたゆまぬ努力こそが、成長への糧となることでしょう。

未来においても皆様に必要とされる、地域に根ざした長崎バスグループであり続けるため、「人と人、街と街を結ぶ企業として、長崎の暮らしを支え、社会の繁栄に貢献する」という使命を果たすとともに、正しいCSR活動の実現という基盤のもと、様々な取り組みを推進してまいります。

代表取締役社長 嶋崎真英



嶋崎社長 長崎日蘭協会会長へ就任

長崎日蘭協会の新たな会長に当社社長の嶋崎真英が就任いたしました。

長崎とオランダの交流促進を目的とする同協会。上田恵三前会長(当社前会長)の死去後、空席となっていた会長選出のため、平成29年10月11日に協会の臨時総会が執り行われ、在長崎オランダ王国名誉領事を務めている嶋崎社長の就任が決定しました。

長崎市の国指定史跡「出島和蘭商館跡」と対岸の江戸町を結ぶ表門橋の完成など、長崎とオランダの交流の歴史は全国的な関心事となりました。

オランダとの今後の交流深化に向け努力すると共に、長崎の歴史や魅力を全国に発信してまいります。



平成29年11月24日、長崎市の国指定史跡「出島和蘭商館跡」と対岸の江戸町を結ぶ「出島表門橋」完成記念式典が開催され、秋篠宮同妃両殿下並びにオランダ王国ローレンティン妃殿下もご臨席されました。式典には当社社長の嶋崎真英、田上長崎市長をはじめとした、多くの方が参列し開通を祝いました。

また、前日には完成を記念し、オランダ・アムステルダムを本拠地とし、世界三大オーケストラの一つに数えられるロイヤル・コンセルトヘボウ管弦楽団のコンサートも開催されました。

400年の永きに渡る長崎とオランダの交流の歴史。出島表門橋は、未来に向け新しい交流を生み出すシンボリックな架け橋になると期待されています。

32年ぶり 制服リニューアル

創立80周年を迎えた長崎自動車(株)では、気持ちも新たに次の目標である100年企業へのスタートを切るため、平成29年4月1日より、バス運転者を始めとした従業員の制服をリニューアルしました。運転者制服のデザイン変更は32年ぶりとなり、長崎バス観光(株)、さいかい交通(株)の運転者も同じデザインへリニューアルしております。

新制服は冬服がチャコールグレーの上着の袖口と左襟に、長崎バスのイメージカラーであるトリコロールラインがデザインされています。胸元には、男性用として鮮やかなゴールド系と落ち着いたネイビー系のネクタイが用意され、女性運転者はブルー又はパープルのリボンを着用します。

夏服の男性用シャツには、青のストライプに清潔感のあるボタンダウンを採用しました。女性運転者は、ベストの胸元にトリコロールラインがデザインされています。

通年着用している帽子も新しくなり、エンブレムは中央に長崎バスの社章をあしらったものとなりました。

今回の制服リニューアルを機に気持ちも新たに、社員一同さらなるサービス向上に努め、地域の皆様に愛される長崎バスを目指してまいります。

※旧制服は回収しリサイクル処理を行った後、自動車内装材等の新しい原料として再利用されております。



整備員の制服は、背中のデザインが新しくなり、長崎バスの一員としての統一感が表現されています。





長崎バス東長崎営業所

東長崎営業所完成

平成29年3月16日、長崎バス東長崎営業所が竣工を迎え、供用を開始しました。

東長崎地区の運行は、長崎市地域公共交通会議の承認を受け、平成26年4月1日に開始されました。承認から僅か3ヶ月という短い準備期間だったこともあり、当初から仮設建物での営業を続けておりましたが、この程、待望の本設営業所が完成しました。

新営業所の完成を祝して執り行われた竣工式には、九州運輸局長崎運輸支局の皆様、長崎市、並びに地元自治会の皆様にご臨席を賜りました。

新たな営業所には整備工場や給油所等の設備を整え、また、バスの待合所を兼ねたお客様窓口も設けております。

この新しい営業所を拠点に、これからもしっかりと地域に根ざし、交通事業者としての役割と責任を果たしてまいります。

日本一愛される バス会社を目指して

心を見つめ、思いにお応えする——。
いかなる時もお客様の視点に立ち
長崎の明るい未来を開拓することは
地域に根ざした企業である
長崎バスグループに与えられた大切な使命です。
これからも私たちは地域と共に
力強く歩みを進めます。

名もなき一日を走る。

長崎バス



安全・安心

Safety and Security

高齢者向けバス教室

全国的に路線バス車内でお客様が転倒し、骨折などの重傷を負う“車内事故”が相次いでいます。このような状況を踏まえ、高齢者を対象としたバスの乗り方教室「活き活きバス教室」を、7月の車内事故防止キャンペーンにあわせて開催しました。まず、研修室でスライドを使用し、走行中の危険な行動等についての説明を実施。その後、実際の車両に乗車し、バスの特性や安全な乗り方について理解を深めていただきました。

今後もこのようなバス教室を通じて、お客様のご理解・ご協力をいただきながら、車内事故の防止を図り、安全・安心な運行に努めてまいります。



走行中の座席移動など、危険な行動をインストラクターが実演



基本走行の様子
スラローム、8の走行を行い車の限界を知り、運転姿勢の重要性を理解する。



安全技能向上研修

運転技術の向上を目指し、入社5年目以上の運転者を対象とした「安全技能向上研修」を実施しています。平成29年には4月、10月の計20日間に215名が受講しました。

この研修では危険の回避に必要な安全運転の知識や技能を実践的に習得します。研修室での机上教育により理論を理解し、教習コースでは実技を行い、自ら体験することで安全技能を定着させています。

今後も、体験型研修を通して運転者へ気付きを与え、安全最優先に対する更なる意識の向上と安全風土の構築を図ってまいります。

コンプライアンス編 映像教材を活用

日常起こり得るコンプライアンス違反の事例をドラマ仕立てて解説した映像教材「コンプライアンスの実践!～あなたは大丈夫?～」を制作しました。

全営業所で撮影を行い、具体例を交えてわかりやすく仕上がったコンプライアンスの実践教材です。同時に紙芝居形式の教習教材も作成し、営業所における日常の教育・指導にも活用。コンプライアンス意識の醸成を図っています。



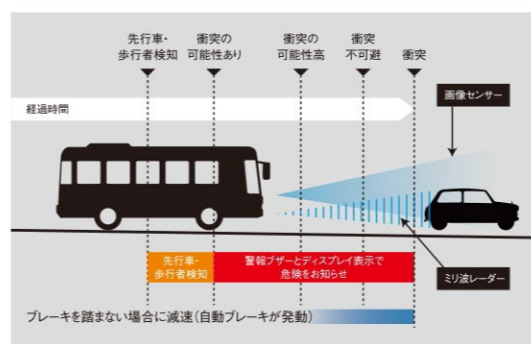
ASV搭載車両の導入

平成29年、長崎自動車(株)は空港線2台、高速バス1台、長崎バス観光(株)は貸し切りバス2台の安全装着車を導入しました。

平成28年に起きた「軽井沢スキーバス転落事故」で若い命が多く失われたことをきっかけに、バス事業者には、安全・環境の両面でより厳しい水準が求められています。

衝突被害軽減ブレーキシステム、車間制御クルーズ、車線逸脱警報、車間距離警報装置、ドライバーモニターなど安全装置をフル装着した車両を導入。運行中のあらゆる局面における、更なる安全性の向上を追究しております。

衝突被害軽減ブレーキシステム作動イメージ



車両火災訓練の実施

走行中のバスにおいて出火が起きた場合、最優先に考えるのはお客様の安全です。いざという時に備え、迅速な対応ができるよう、車両火災を想定した消防訓練を長崎市北消防署と共同で時津営業所にて実施しました。

走行中のバスが自家用車と正面衝突し、車両火災が発生したという想定のもと、実際のバス車両を使用し、行いました。通報、初期消火、避難誘導といった一連の動作を確認しました。

放水車やレスキュー車も出動し、隊員の皆さんをはじめ参加者は真剣そのもの。日頃から非常事態に対応できるよう、万全の備えを整えています。



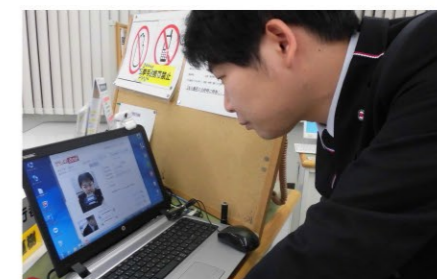
消防訓練の様子

※ テレ点呼システムの導入

平成28年に当社が惹起したアルコール検測不正行為事案を踏まえ、身代わり検知測定を防止を図るべく、遠隔地のアルコール検知測定において、運行管理者が動画により検測状況を現認できるシステムを平成29年10月1日から運用開始しました。不正防止だけでなく、運転者の顔色や健康状態、身だしなみの確認が可能となり、遠隔地点呼の質が格段に向上しました。あわせて各営業所の運行管理者も増員し、運行管理体制の強化も図っています。

また、運行管理者の研修会も定期的に開催し、スキルアップにも努めております。

今後も、お客様に安全・安心を提供すべく、強固な運行管理体制を構築してまいります。



テレ点呼の様子

テレ点呼/電話点呼の際、動画(テレビ電話)を使うことにより、声だけではなく、顔色などの健康状態が見える形で会話できるクラウド型のサービス。

環境活動

Ecology

ハイブリッドバス導入・オリンピックナンバープレート装着

平成29年、5台のハイブリッドバスを導入しました。前年にも2台導入したハイブリッドバスは、環境負担軽減などの効果が期待されています。

また、平成29年導入車両に加え、現在運行している空港線バスと高速線バス及び社用車を含めた全50台に「東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会 特別仕様ナンバープレート」を装着しています。東京五輪を応援するため国土交通省から交付される特別仕様ナンバープレートは、大会開催に必要となる交通サービスの改善(バス・タクシーのバリアフリー化等)に充てるための寄付を兼ねています。



オリンピックナンバープレート

ハイブリッドバス



モーターサービス部 環境美化で表彰

長崎バスモーターサービス部が、平成29年度長崎市保健環境自治連合会の会長表彰を受けました。毎月、連合自治会主催の清掃活動に参加するとともに、所属自治会において除草や花の植え付けなどの環境美化活動を行っていることが評価されたものです。

環境美化は地域の一員としての務めです。自分たちが気持ちよく働くためにも、今後もこのような活動を続けてまいります。



表彰式の様子

地域社会

Community

子供向けバスの乗り方教室

平成29年1月、長崎バスが運行する路線沿線（長崎市、時津町、長与町）の幼稚園48園に約6,000個のサウンドバスを贈呈しました。

このサウンドバスは、創立80周年を記念して作られたものです。これまでの歩みを支えて下さったお客様並びに地域の皆様への感謝の気持ちを込め、贈呈しました。また、1月30日には矢上幼稚園にて、贈呈式とバスの乗り方教室を開催しました。

長崎バス安全教育センターでは、路線バスに親んでもらい、バスのご利用方法、乗車時のマナーや交通安全への理解を深めていただくため、子どもたちを対象とした「バスの乗り方教室」を開催しています。平成29年は計13回、590名を対象に実施しました。

絵本の読み聞かせや、実際の車両を使用しての乗車体験、エンジンやタイヤの説明等、バスについて楽しみながら学んでいただける教室です。

これからも長崎バスは、地域の皆様に親しんでいただけるきっかけ作りを行ってまいります。



矢上幼稚園サウンドバス贈呈式の様子

世界文化遺産登録の一助に

平成30年の世界遺産正式登録が期待されている「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」。構成資産修復への支援として長崎県に対し1千万円の寄付を行いました。

長崎バスも創立80周年を迎え、少しでも地域の皆様のお役に立てばとの思いによるものです。このことがきっかけとなり、長崎県内の資産修復支援に向けた雰囲気づくりに繋がることを期待しています。



地域社会

Community



バスフェスタの開催



平成29年10月、お客様や地域の皆様に対し、日頃のご愛顧への感謝のこころを伝えるためのイベント「バスフェスタ2017」を開催しました。

このイベントは、若手社員が実行委員会を立ち上げ、企画から運営まで全て行っています。

今年から、長崎バスグループ全体で取り組むイベントとして、グループ会社からもメンバーが加わり、総勢15名の実行委員会で準備を進めました。

会場のみらい長崎ココウォークには、雨で足元の悪い中、約1,600人の方にご来場いただき大盛況。恒例となってきたペーパークラフト作りから、バス博士によるクイズ大会、抽選会の他、プロの演奏家「プリコット」によるバスにちなんだスペシャルな音楽会など盛りだくさんの内容に、お客様の笑顔溢れる一日となりました。

長崎バス安全教育センターに消防協力表彰

長崎バス安全教育センターは、創立75周年事業として平成24年に開所しました。この施設は、実技訓練用の教習コースと研修や会議の場として利用できる研修室を備えたものです。

これまでに、地域貢献の一環として警察や消防などへ施設を提供してまいりました。長崎市内の警察署や消防署、警察本部、消防団などの車両訓練が、安全教育センターの教習コースを使用して実施されています。平成29年1月、このような協力体制が評価され、長崎市より消防協力表彰を受賞しました。

今後も訓練の場を提供することで、長崎の防犯・防災の一翼を担ってまいります。



消防車両訓練の様子



県警車両訓練の様子



長崎バスグループ合同研修会

人材交流を目的として、各社共通のテーマによる研修会を開催しました。グループ11社26名が参加し、長崎市消防局のご協力により普通救命講習会を行いました。基本的な心肺蘇生法、AEDの使い方や正しい止血の方法といった救命に必要な知識を学び、さらに訓練用の人形を使って、一人ひとり蘇生法などを体験しました。

いざという時、自分自身や身の回りの大切な人の命を守るために必要な救急救命の知識。参加者は、真剣にメモを取り、手順を確認しながら蘇生訓練に取り組みました。

午後からは、コミュニケーション力を高め、元気の職場作りに繋げるための講演会が行われました。

楽しく拝聴し、改めてコミュニケーションについて考える良い機会となりました。



合同研修会の様子

長崎バスグループボウリング大会

長崎バスグループの社員の交流を深めるため、グループ連携(交流促進チーム)の企画で初開催しました。グループ各社から集まった参加者は87名。ボウリング場のワンフロアを貸し切って行いました。各社の参加者が垣根を越えて交流できるように、予めチーム編成を行い2ゲームを楽しみました。また、ゲーム後の親睦会・表彰式ではお互いを称え合う光景も。参加者は、大いに盛り上がり、交流を深めることができました。

今後もグループ会社社員のコミュニケーションを活性化し、グループ全体の一体感を深められるイベントを実施してまいります。



ボウリング大会の様子

長崎バスグループ バックヤードツアー

長崎バスグループの社員とご家族を対象としたバックヤードツアーを行いました。

長崎バスグループの事業は多岐に渡りますが、中核とするのは路線バス事業です。その路線バスについて、理解を深めてもらうために企画されました。バスの整備工場の見学や、洗車機体験など、普段目にする事ができない「舞台裏」を間近に見学する機会となり、参加者には有意義な一日となりました。



バックヤードツアーの様子

バス停留所にフリーWi-Fi 多言語表記案内板の設置

長崎バスでは、訪日外国人旅行者を含めたバスご利用者の利便性を高めるため、市内9か所のバス停留所において、無料公衆無線LAN及び多言語バス停案内板(英語、韓国語、中国語、台湾語の4ヶ国語に対応)を設置しています。

外国から長崎を訪れる観光客は年々増加しており、バス停において観光やアクセスの情報を提供することで、お客様の目的地までの円滑な移動をサポートします。



NagasakiBUS_Free-Wi-Fi

国土交通省の「訪日外国人旅行者受入環境整備緊急対策事業費補助金制度」を利用しています。

新たに2社のグループ会社が誕生

長崎バスグループ

長崎自動車株式会社

長崎バス観光株式会社

さいかい交通株式会社

長崎バス商事株式会社

長崎バス建物総合管理株式会社

長崎バス情報サービス株式会社

ホテル日航ハウステンボス

国民宿舎 青雲荘

長崎バスターミナルホテル

みらい長崎ココウォーク

株式会社COCOアドバンス

五島自動車株式会社



島原鉄道株式会社

株式会社イズワークス

島原鉄道が 長崎バスグループへ

長崎自動車(株)は平成29年11月10日に、地域経済活性化支援機構(REVIC)の要請を受け、島原鉄道(株)の再生支援スポンサー企業に内定いたしました。また、同年12月15日に島原鉄道(株)で行われた臨時株主総会において同社株主の皆様へ再生支援受入れの承認を頂き、これにより島原鉄道(株)は、長崎自動車(株)の子会社になることが正式に決定しました。

島原鉄道の子会社化に当たっては、島原半島の住民の方々の“足”を守るという社会的要請に応えることはもとより、人口減少、経済衰退傾向にある島原半島全体の活性化の観点から観光振興、物産振興、商業施設等への取り組みも課題点となります。

今後は、様々な分野のノウハウやネットワークを活かし、島原鉄道(株)の再生に取り組み、地域の歩みを支えてまいります。



イズワークスが 長崎バスグループへ

出版物やホームページの企画・制作などを行うイズワークスが長崎バスグループに加わりました。イズワークスが制作する季刊誌『楽』は、日本タウン誌・フリーペーパー大賞を受賞するなど、そのクオリティに関して高い評価を頂いております。今後は、長崎バスグループのイズワークスとして出版業・広告業のみならず、様々な事業分野への進出と各社とのシナジー創出が期待されます。

長崎バスグループとなった、株式会社イズワークスを末永くご愛顧賜りますようお願い申し上げます。



浜せんビル4階にRAKU GALLERYが誕生



長崎バスグループの使命

人と人、街と街を結ぶ企業として、
長崎の暮らしを支え、社会の繁栄に貢献する。

経営理念

安全と安心

安全をすべてに優先し、信頼される企業をめざします。

感謝のこころ

お客様の目線に立ち、おもてなしの心でサービスを提供します。

仕事への誇り

働く喜びを実感できる、活力ある企業風土を大切にします。

地域とともに

長崎のみらいを創造し、地域とともに歩みます。